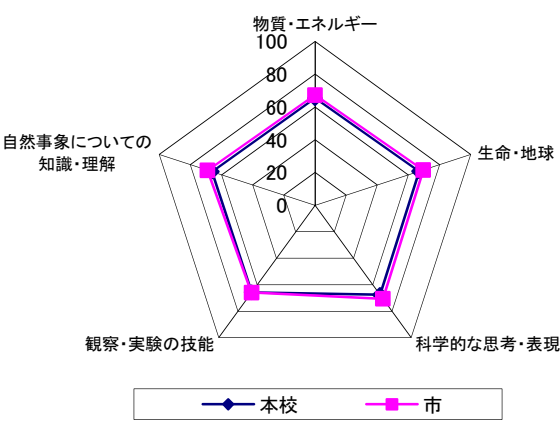


宇都宮市立新田小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	65.4	67.3
	生命・地球	66.9	69.5
観点別	科学的な思考・表現	67.6	70.6
	観察・実験の技能	65.8	65.9
	自然事象についての知識・理解	66.2	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・ 宇都宮市の平均正答率と比べ、1. 9%下回っていた。ふりこのふれはばと、ふりこの1往復する時間の関係を調べる実験の計画をする設問での正答率は、市の平均を10. 2%上回った。水溶液から水を蒸発させたときの様子から、溶けていたものが固体か気体かを判断する設問では正答率は、市の平均を13. 6%下回った。また、物は溶かす前と溶かした後でも重さが変わらないことを、具体的な数値の中から選択する設問では、市の平均を4. 8%下回った。	・ 実験の目的を十分に把握させ、結果とそこから得られる結論を結び付けるための場を、授業の中にしっかりと位置付ける。 ・ 気体が溶けている水溶液の学習では、うすい塩酸や炭酸水を使って蒸発させる実験を行うだけでなく、その際に、食塩水など個体が溶けている水溶液を蒸発させて比較する活動を取り入れる。 ・ 食塩を水に溶かして、重さを比較する実験では、予想と結果を十分に吟味させる場を設定する。
生命・地球	・ だ液のはたらきを調べる実験の結果を問う設問での正答率は、市の平均を7. 8%上回った。しかし、食べ物をからだに吸収されやすい養分に変える液を「消化液」と記述する設問での正答率は、市の平均を18. 4%下回った。また、観察した太陽と月の位置関係から、月の形を判断する設問では、宇都宮市の平均正答率と比べ、16%下回っていた。	・ 本校で提供でいる生物教材や素材を生かした魅力的な実験を行い、自然事象に対する興味・関心を高めることができるようにする。 ・ ノート指導を徹底し、用語を確実に定着させるようにする。 ・ 太陽と月の位置関係については、実験・映像資料・説明器具・説明図などを有効に用いて、実感を伴った理解につなげる。